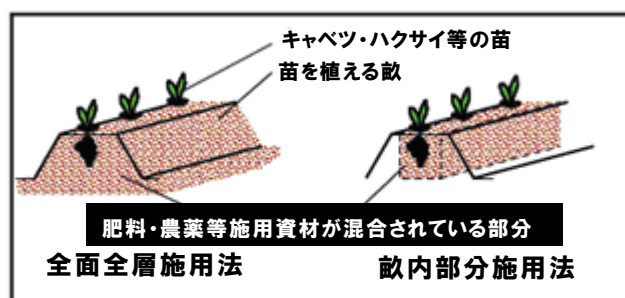


ブロッコリーの畝内部分施用技術の導入について

南加賀農林総合事務所加賀農林事務所



実証試験の様子



畝内部分施用技術の概要図

J A加賀ブロッコリー部会では、環境に優しく消費者に支持される安全・安心なブロッコリーの産地を目指し、平成16年から部会員全員でエコ農業に取り組んでいます。

当事務所では、これまでも化学肥料を従来の使用量から30%減らすことを目標に、土の中で少しずつ溶け出す肥料や発酵鶏糞を使った施肥方法の導入を図ってきましたが、作柄が安定しない、エコ栽培のために使用する化学肥料が高価であるなどの問題がありました。

これらの問題を解決するとともに、よりレベルの高いエコ栽培を実現するため、平成19年から、国の試験研究機関で開発された“畝内部分施用技術”を導入し、栽培試験に取り組んできました。

この技術は、栽培過程を通じて用いられる化学肥料を従来の使用量から30～50%減らすと同時に、植え付け時に使用する農薬を従来の使用量から70%減らすことができるもので、環境に優しい農業を進めていく上での切り札として注目されています。

これまで、加賀市のブロッコリー栽培に適合するよう、使用する肥料の組み合わせや使用量について試験を繰り返してきました。

平成23年は、約40aのほ場で実証試験を行った結果、いずれの実証ほにおいてもブロッコリーの生育は順調で、収量は目標を達成することができました。

生産コストも従来の栽培方法より20～30%下げることができ、生産者の注目を集めています。

当事務所では、平成24年以降、この技術の本格導入を進めていくこととしており、環境に優しく、消費者に支持される産地づくりに向けて、これからも産地が取り組む活動を応援していきたいと考えています。

問い合わせ先：南加賀農林総合事務所加賀農林事務所（0761-72-8511）